

# 授業科目 基礎看護学実習Ⅰ

【担当教員名】  川崎 久子 他		対象学年	1	対象学科	看護
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	45
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：GI0】 看護の対象とする人々と看護職の活動の実際を理解する。さらに、看護ケアを必要としている人との関わりを通して援助の人間関係を理解し、その人のニーズに応じた日常生活援助の方法を学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 入院患者の生活の実際について述べるができる。(I-a) 2. 看護活動の実際について知り、看護職の役割を考えることができる。(I-a) 3. 受け持ち患者に関心を持つことができる。(I-b) 4. 受け持ち患者とコミュニケーションをとることができる。(I-b) 5. 受け持ち患者との相互作用について気づくことができる。(I-b) 6. 受け持ち患者のニーズを理解することができる。(I-b) 7. 受け持ち患者の安全、安楽に配慮し、日常生活の援助が実施できる。(I-b) 8. グループ運営に積極的に参加し、実習の学びを発展させることができる。(I-b) 9. 看護をする人として、適切な態度をとることができる。(I-a、I-b) 10. 実習での学びを通して、今後の課題を明確にすることができる。(I-a、I-b) (I-b)					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
	1. 学内オリエンテーション 2. 病院・病棟オリエンテーション 3. 病棟実習（1週間） 1) 一人の患者を受け持ち実習を行う 2) 患者の基本的ニーズを理解し、日常生活の援助を実施する 3) カンファレンス 4) 実施した援助の振り返り 4. 課題レポートの作成 5. 実習の評価、今後の課題の明確化				実習グループを編成し、各実習施設で実習を行う（基礎看護学全教員）
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料		看護学臨地実習共通要項 基礎看護学実習Ⅰ要項 配布資料			
【評価方法】 出席：10% 実習内容：70% 課題レポート：20%		【履修上の留意点】 ・見学実習であるI-a（前期）とI-bに分けて実施する。 ・対象者の安全の確保やプライバシーの保護など、倫理的な配慮に十分留意する。 ・援助の人間関係論、日常生活援助技術、フィジカルアセスメントについて、事前に十分学習する。 ・原則として実習オリエンテーションを受けなければ、実習には出席できない。 ・この科目は、フィジカルアセスメント、基礎看護技術Ⅰを履修していることが前提である。			